

授業科目 解剖学Ⅱ

【担当教員名】 山田　まりえ、笹川　一郎		対象学年	1	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【概要・一般目標：G10】 解剖学Ⅱでは、特に運動器について骨学、関節・靱帯学、筋学に系統的に分け、それぞれについて名称、位置、構造、機能、ならびにそれらの相互関係を理解する。さらに神経系（中枢神経系、末梢神経系）について、その構造・機能を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 骨格系の機能を概説できる。 2. 全身の個々の骨を見分け、名称を言える。 3. 椎骨の基本構造、頤椎・胸椎・腰椎の特色を説明できる。 4. 椎間円板、脊柱彎曲の意義を説明できる。 5. 上肢・下肢の比較し、各骨の臍部の名称を言える。 6. 骨の連結の種類を説明できる。 7. 関節の分類と代表例を説明できる。 8. 滑膜性連結と靱帯を説明できる。 9. 筋の種類、形態的特徴を理解し、体内の分布を説明できる。 10. 骨格筋の構造とその付属器を概説できる。 11. 主な骨格筋の名称、起始・停止、支配神経を理解し、簡単な作用を説明できる。 12. 神経系を構造、機能の観点から分類し、それぞれを概説できる。 13. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。 14. 中枢神経系を区分し、各々の機能を概説できる。 15. 脳神経の番号、名称、主たる働きを説明できる。 16. 脊髄神経を概説し、4つの神経叢の神経分布を説明できる。 17. 交感神経系・副交感神経系について構造と機能を概説できる。 18. 運動路、知覚路を概説できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨とは　骨学総論			1, 2	講義、担当：山田　まりえ
2	骨学各論　頭蓋			2	講義、担当：山田　まりえ
3	脊柱			3	講義、担当：山田　まりえ
4	胸郭			2	講義、担当：山田　まりえ
5	上肢			5	講義、担当：山田　まりえ
6	下肢			5	講義、担当：山田　まりえ
7	関節・靱帯　総論			6	講義、担当：山田　まりえ
8	関節・靱帯　各論　頭蓋の連結			7	講義、担当：山田　まりえ
9	脊柱、脊柱と頭蓋の連結			8	講義、担当：山田　まりえ
10	上肢の連結- 1			8	講義、担当：山田　まりえ
11	上肢の連結- 2			8	講義、担当：山田　まりえ
12	下肢の連結- 1			8	講義、担当：山田　まりえ
13	下肢の連結- 2			8	講義、担当：山田　まりえ
14	筋学　筋学総論			9, 10	講義、担当：山田　まりえ
15	筋学各論　頭部の筋			11	講義、担当：山田　まりえ
16	体幹の筋- 1			11	講義、担当：山田　まりえ
17	上肢の筋- 1			11	講義、担当：山田　まりえ
18	上肢の筋- 2			11	講義、担当：山田　まりえ
19	下肢の筋- 1			11	講義、担当：山田　まりえ
20	下肢の筋- 2			11	講義、担当：山田　まりえ
21	神経学　神経学総論			12	講義
22	神経学各論　神経とは			12	講義
23	中枢神経系- 1			13	講義
24	中枢神経系- 2			14	講義
25	末梢神経系- 1　　脳神経			15	講義
26	末梢神経系- 2　　脊髄神経			16	講義
27	交感神経系			17	講義
28	副交感神経系			17	講義
29	伝導路- 1			18	講義
30	伝導路- 2			18	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>　　<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法士・作業療法士・　言語聴覚士のための解剖学		渡辺正仁	南江堂　　2000・5,500円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、小テスト、期末試験の総合評価		【履修上の留意点】 不定期に小テストを実施します。総合評価にいらしますので、欠席をしないよう注意すること。 勉強範囲が広いので、日頃の復習が重要です。			